



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和3年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和3年2月9日(火)

| | | | |
|-----|--|----------|--------|
| 事業名 | 町会・自治会活性化支援 | 予算(案)の概要 | 87 ページ |
| 予算額 | 令和3年度予算額 4,971 千円 (前年度予算額 4,641 千円) | (拡充) | |
| 取材先 | 地域振興部地域コミュニティ課長 石塚 (電話 03-5273-4098) | | |

地域を支える 町会・自治会活性化への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、通常の町会・自治会活動が難しい状況が続く中、地域での声掛けや見守りなど、地域のつながりの重要性が改めて認識されています。こうした中、LINE等を活用し情報共有を行うなど地域の連携が広がり始めています。区は、これらの地域活動を継続するための支援を行っていきます。

◎町会・自治会向け講演会及びコンサルティング【予算額 1,408千円】

★講演会1回 【88千円】

- ・コロナ禍における町会・自治会の活動方法(予定)
- ・他団体の成功事例等の情報共有
- ・参加者同士の意見交換



★町会・自治会へのコンサルティング(4団体×3回)【1,320千円】

- ・講演会講師が、希望する4団体に対し年間3回のコンサルティングを実施

★前年度にコンサルティングを受けた団体のフォローアップ派遣も可能
(課題解決に向けたテーマの例)

- コロナ禍における町会・自治会の運営
- 町会・自治会活動のPR・周知
- 活動の担い手の確保
- 地域の町会とタワーマンション等集合住宅居住者との交流・連携



◎SNS(Facebook・LINE)入門講座【予算額 323千円】

★本講座4回

- ・「Facebook」及び「LINE」の基本的な使い方を学ぶ
コロナ禍により、直接会って会議などをしなくとも情報を共有する仕組みが求められています。スマートフォンのアプリ「LINE」などを利用することで、円滑な情報共有が可能になり、町会・自治会運営の手助けとなります。

★補習講座5回

- ・本講座のフォローアップ
- ・受講者の要望によりオンライン会議アプリ「Zoom」の利用方法
- ・パソコンを使用し名刺やチラシを作成、印刷する方法 など



◎その他

★区町会連合会と連携した情報共有

コロナ対策を徹底したイベントや会合などの地域活動の好事例を区町会連合会定例理事会で報告し、ホームページに掲載するなど、区町会連合会と連携することで、他の団体が参考にできるよう周知していきます。また、広報新宿でも各町会・自治会での取り組みを紹介していきます。

◆地域コミュニティ事業助成制度の活用

地域コミュニティの活性化及び絆づくりを目的に、町会・自治会をはじめ地域の様々な活動団体の事業に対し、費用を助成しています。

コロナ禍において、事業実施に欠かせない**マスク**、**手指の消毒液**、**非接触型体温計**などの**新型コロナウイルス感染症対策経費**も助成対象です。



◆地域に暮らす人々をつなぐ基盤となる 地域コミュニティの強化



★タワーマンション実態調査(令和元年度実施)結果を踏まえた地域コミュニティ活性化支援

- ・地域コミュニティの好事例(サロンの開設、公開空地を利用したお祭りなど)を情報共有するための仕組み作り
- ・町会・自治会やマンション管理組合等に個別アプローチを行い、それぞれの状況に応じたコミュニティ活性化支援を実施